

▶ クラウド データ管理戦略を策定するための 5 つのステップ

クラウド実施計画において経済的損失の大きい失敗を避けるための重要な洞察

バックアップやディザスタリカバリをクラウドに依存しているビジネスにとって、クラウド データ管理戦略を策定すること、または改善することは非常に重要です。クラウド データ管理戦略がないと、ビジネスは重大な影響を受ける可能性があります。ここでは、クラウド データ管理戦略において考慮すべき 5 つの主要な要素と共に、自社の IT チームやビジネスに対して尋ねるべき質問を示します。



経営陣は概念的にはアプリケーションやデータのクラウドへの移行をサポートしますが、クラウド戦略を策定するには一定の基盤作りが必要になります。特に、企業が望むより俊敏でセキュアかつ信頼性の高いクラウド運用を行うには、データ管理と保護に対する定義された手法を含む戦略が必要になります。同意したクラウド データ管理戦略をうまく実行に移すには、経営陣、クラウドアーキテクト、IT チーム間の緊密な連携が必要です。

これまで、企業は必要な基盤を構築していないようです。調査会社 IDC が企業の IT 専門家に対してアンケートを実施した結果、最適化されたクラウド戦略を持っていると考えている組織は、5% 未満であることがわかりました。¹

これに関して、現在のクラウド主導環境の複雑性が増していることを考えると、いっそう懸念が高まります。組織の 82% が複数のクラウドを使用しており、その平均数はパブリック クラウド環境とプライベート クラウド環境間で 8 となっています。²

クラウドが多くのデジタル変革の背後にある要因となっている中で、この複雑さは今後も増していきます。実際に、IDC はデジタル変革に対する出費が 2020 年には 2 兆ドルに達し、最も急速に成長している技術カテゴリはクラウドインフラストラクチャ (29.4% の年複利成長率) であると報告しています。³

驚くべき結論として、企業はクラウドへの出費に対して積極的ですが、データ管理、クラウドへの投資の保護、保存している貴重なデータを含めて、十分練られたクラウド戦略を持っている企業は非常に少ないということです。

組織のクラウド戦略が最適化されていると考えているのは 5% 未満

IDC

「Cloud Going Mainstream」、2016 年 9 月

▶ クラウド データ管理戦略の 5 つのステップ

お客様の企業が、クラウド展開をこれから始める、戦略的な考察を開始した、あるいは現在の戦略は不十分だと認識している、といったいずれの場合でも、以下の点の影響について考えてみてください。これらの 5 つの要素と関連する質問により、あなたの実行プランにおいて多大な損害をもたらす大きな失敗を防ぐために必要な洞察が得られます。堅実なデータ管理プランにより、デジタル変革をサポートし、クラウドを十分活用し、競争力の高いビジネス ツールにすることができます。

1 データリカバリ SLA (サービス レベル合意書) 全体を評価する。データのバックアップとリカバリの SLA は、オンプレミスであるかクラウドであるかにかかわらず、一貫性がある必要があります。また、オンサイトのリカバリが不可能である致命的な出来事が発生した場合でも、オンデマンドでクラウドからデータを確実にリカバリできる信頼性が必要です。

クラウドからのリカバリに必要以上に時間がかかる場合、SLA 要件が厳しくなっている場合、または一貫性のない SLA 要件でハイブリッド クラウド運用を行っている場合は、SLA のパフォーマンスと一貫性を見直す時です。リカバリの観点から、遅延がどこにあるのかを特定し、それを解決するための新しいリカバリ戦略を実装します。また、バックアップとリカバリ業務をテストしていない場合は、ディザスタ リカバリの必要性が生じる前に、それらの信頼性テストを実施することが重要です。以下の質問について考えてください。

- 各ワークロードにどのような SLA が必要ですか？
- それらの SLA は、現在のデータ リカバリ プロセスを使用して実現可能ですか？
- このデータ リカバリ戦略が最後にテストされたのはいつですか、またそのパフォーマンスはどうでしたか？ データ リカバリ戦略で何を変更または更新しますか？

1 IDC ホワイトペーパー (Cisco 後援) 「Cloud Going Mainstream」、2016 年 9 月

2 RightScale, 「State of the Cloud Survey」、2017 年 1 月

3 IDC, 「Worldwide Digital Transformation Spending Guide」、2017 年 2 月

- 2 データ セキュリティとガバナンスについて十分に理解する。データ漏洩とデータ消失を含むセキュリティの課題は、クラウド導入を検討している組織にとって主要な懸念事項です。Interop ITX 調査レポートによれば、プライベートまたはハイブリッド クラウドを使用している企業にとって最大の懸念はセキュリティ (51%) で、2 番目の懸念がパフォーマンス (29%) です。⁴

しかし実際には、クラウド セキュリティ最大のリスクをもたらす可能性があるのは、人的エラーによる障害です。このレポートでは、「AWS のようなクラウド プロバイダーは、ほとんどのオンプレミスのデータセンターよりもはるかに厳格なセキュリティ監査や管理を自らに課しているため、最大のリスクは、きちんと設計されていないアプリケーションや、組織自身が管理しているシステムや情報へのアクセスまわりの不十分なコントロールにあります。」と述べています。⁵ クラウド データ戦略がセキュアで、データ ガバナンス ポリシーに従っていることを確認するため、チームに以下の質問をしてください。

- データは、一元化された認証、許可、暗号化キー管理の仕組みを使用して、複数のクラウドとワークロード間でセキュアに保護されていますか？
- クラウドの利用を管理するために一元化されたビジネス ポリシーとコントロールを適用し、データが正しく作成、使用、廃棄されるようにしていますか？
- クラウド運用でデータ ガバナンス基準を満たしていますか？クラウドがパブリックか、プライベートか、その組み合わせであるかにかかわらず、ガバナンスには一貫性が必要です。
- チームは、データ作成後に手法を適用するのではなく、コンテンツとコンテキストに基づいて、データ作成時にアクティブなガバナンスを適用していますか？

- 3 より優れたデータ管理コントロールを得る。企業は、ワークロードをスケールアップできる点にクラウドの魅力を感じます。効果的な洞察を行わないと、クラウドは俊敏なワークフローではなく非効率性の原因となる可能性もあります。クラウド導入計画を確認し、次のことを検討してください。

- クラウドやその他の場所に保存されたデータについて、十分にグローバルな表示が可能で、何が管理されているのか把握することはできますか？社内要件および規制要件が満たされていることを確認できますか？
- IT は、どのようなデータがあり、それがどこにあり、所有者がだれで、だれにアクセス権があるかわかるように、全データに単一のインデックスをつけていますか？
- すべての場所を対象に検索を実行し、構造データと非構造データの両方を確認することができますか？
- 効率的なガバナンス、コンプライアンス、証拠開示にオンデマンドで対応できる統合データ管理運用はありますか？

クラウドにおけるデータリカバリで俊敏性を確保する

IT 組織がプライベートクラウドやハイブリッドクラウドを構築する中で、俊敏性が主要な動機付けの要因となっています。クラウドにおけるデータリカバリで、より高い俊敏性を達成する方法をご覧ください。

今すぐ読む



bit.ly/1Ky7QVC

4 Interop ITX, 2017 State of the Cloud, 2017 年 1 月

5 Interop ITX, 2017 State of the Cloud, 2017 年 1 月

4 クラウドのコスト メリットを十分に得る。コスト削減は、クラウド コンピューティングのメリットとして、スケーラビリティやパフォーマンスよりも順位が下がりますが⁶、現実にはコストは関心事項です。スマートなクラウド戦略の一部として、使った費用の最大化について厳しく確認する必要があります。戦略的なクラウド データ管理戦略は、コスト管理に役立ちます。以下のコスト削減オペレーションについて考えてください。

- 異なる階層のクラウド ストレージ間で自動的にデータを移動することにより、価格、場所、アクセス パターンを最適化します。
- インフラストラクチャのニーズを減らし (クラウド ゲートウェイをなくすなど)、クラウド データ管理の綿密な統合を通じて、データ消失のリスクを減らします。
- 予算、規模、場所をコントロールしながらも、セルフサービス管理で、パブリック クラウドのコンピューティング リソースやストレージ リソースをプロビジョニングできる機能を実装します。

5 自由と柔軟性を取り入れる。クラウド最大の戦略的メリットの 1 つは、より高い自由度と柔軟性が得られることです。ビジネスの目標が進化すると、新しい技術を簡単に追加費用なしで利用できるオプションを持つことが必要になります。

クラウドのデータ管理戦略では、複数のパブリック クラウドや、プライベート およびオンプレミス インフラストラクチャ間でセキュアなデータ ポータビリティを提供することにより、このニーズをサポートし、俊敏性を手に入れる必要があります。本当にベンダーに依存しないクラウド データ管理ソリューションを選択することで、市場やビジネスの条件に応じてワークロードを移動することができます。

これら 5 つのステップに従ってクラウド データ管理戦略を改善すれば、IT の効率性と管理を維持しながら、リカバリ、セキュリティ、ガバナンスの目標を達成し続けることができます。その結果、経済的損失の大きい失敗を防ぎ、競争力の高いビジネス ツールとしてクラウドの新しい価値を見出すことができます。

6 Interop ITX, 2017 State of the Cloud, 2017 年 1 月

▶ 強力なクラウド デザスタ リカバリ戦略を開発してビジネスをサポートしてください。
commvault.com/cloud で開始します。

© 2017 Commvault Systems, Inc. All rights reserved. Commvault、Commvault とロゴ、「C hexagon」のロゴ、Commvault Systems、Commvault OnePass、CommServe、CommCell、IntelliSnap、Commvault Edge、および Edge Drive は、Commvault Systems, Inc. の商標または登録商標です。その他すべてのサードパーティのブランド、製品、サービス名、商標、または登録サービスマークは、それぞれの所有者の所有物であり、これらの所有者の製品またはサービスを識別するために使用されます。すべての記載は通知なしに変更される場合があります。

COMMVAULT 



▶ COMMVAULT SYSTEMS JAPAN 株式会社 〒141-6008 東京都品川区大崎 2-1-1 THINKPARK TOWER 8F

WWW.COMMVAULT.COM | PHONE: 03-5747-9610 | JPSALES@COMMVAULT.COM
© 2017 COMMVAULT SYSTEMS, INC. ALL RIGHTS RESERVED.